

国立天文台周辺地域土地利用基本構想策定に向けた基本的な考え方（案）に関する主なご意見及び回答
【学校関係団体・おおさわ学園、保育園・幼稚園保護者向け説明会】令和5年10月～11月

※質問の趣旨を踏まえ、当日の回答から回答の骨子を再編集しています。

No	質問・意見の骨子	類似意見	回答の骨子
(1) おおさわ commons に関すること			
1	commonsは自由に出入りができるが、子ども達の安全は大丈夫なのか。		施設計画を検討する際にはセキュリティには十分配慮します。
2	天文台北側敷地に図書館等も一緒にしていくのか。細長い土地だが（計画できるのか）。		西部図書館は移転する方向で検討しています。学校図書館との連携やセキュリティなど含め、今後、具体的な土地利用を検討していきます。
(2) 新学校に関すること			
1	子どもが途中で不登校になった場合に、9年間の学校と言われると、子どもがつらく感じないか。また、なじめない子もいるのではないか。	他1件	9年間の一貫教育については、学校単位で見れば人間関係が固定化するなどの面もありますが、事情に配慮したクラス替えができる学年規模になること、多くの教職員の関わりができる規模になることのメリットを生かし、より丁寧に寄り添える対応を図ります。また、大沢台小跡地を活用した新たな不登校等の学校づくりも検討します。
2	第七中は建て替えなどするのか。	他1件	現在のところ建て替えはしませんが、リニューアルなどは検討しています。義務教育学校の在り方などと一緒に検討していくこととなります。
3	小・中一体化が最先端なのか。他の学園とは、異なる教育を進めていくということなのか。	他1件	義務教育学校になることで、9年間を通しての教育課程をつくるのが可能になります。柔軟な教育ができるようになると思います。
4	子どもたちに「新しい学校をどうしたい？」と聴かないでほしい。移転したくない子もいる。移転が一番影響を受けるのは子どもである。		「学び」の視点を中心に聴いていきます。
5	小学校を遠くに移すと過疎が加速する。少子高齢化対策を考えていくのはどうか。スーパーも近い方が助かるが、小学校が近い方が助かる。子どもたちのことを何も考えていない。一度立ち止まって戻った方がよい。		単なる学校の統廃合ではなく、市全体のまちづくりプロジェクトとして検討しています。
6	学区は廃止しないのか？子どもが減るのであれば、調布市のように学区廃止など抜本的な見直しをしてはどうか。		市ではこれまで、コミュニティ・スクール、地域とともにある学校として、地域の特性を大事にしてきました。現時点では学区廃止の予定はありません。
7	羽沢小学校の人数が減るといいますが、大沢台小はどうなのか。		大沢台小も児童数は減りますが、当面は1学年2クラスは維持できると推計しています。
8	子どもの通学の見守りをしているが、子どもの通学路はどう考えているのか。		通学のサポートは必要と考えており、スクールバスなどを検討しています。
9	これまでの小中一貫教育との違い、メリット・デメリットを明確にしてください。		メリットとしては、中学生の背中を今まで以上に見ることができ、将来像をイメージしていけることだと考えます。また、教員組織が1つとなり、小・中を通じて情報が共有しやすいこともあります。デメリットとしては、6年生のリーダー性の育成と考えますが、様々な工夫をしてリーダーとしての活躍の経験を持つことが大切です。9年生まで一緒にやるもの、そうでないものを分けて、6年生のリーダーとしての活躍の機会を確保していきたいと考えます。
(4) 防災に関すること			
1	水害は気候変動の問題である。木を切ることで自然の循環が妨げられる。垂直避難や、七中・大沢台小に避難すればよいのではないか。	他1件	最近では予測が困難なゲリラ豪雨も多くなっているため、児童の安全確保等の観点から、対症療法ではない防災拠点のあり方を考えています。また、水害の点だけではなく、羽沢小と大沢台小の児童数が今後減少していくことも考慮して一つの学校にすることを検討しています。単学級になるとクラス替えができないなど、デメリットになると考えます。
2	羽沢小の移転は本当に必要なのか。水害の影響については、なぜ今になって分かったのか。		羽沢小学校の設立当時は、ハザードマップもなく、浸水予測を行っていませんでした。平成17年のゲリラ豪雨を受けてシミュレーションを行い、どのような浸水被害が起こるのかを調べました。その後、想定規模降雨が変更となったことから、羽沢小が浸水予想区域内となったところからです。
(5) 羽沢小・大沢台小跡地利用に関すること			
1	大沢台小の跡地利用について、インクルーシブ教育ができなくなるのではないか。		今まで通り、インクルーシブ教育を進めていきます。不登校など、いろいろな子どもたちが通える学校を作りたいと考えています。例えば、不登校特例校などを検討しています。
(6) その他のご意見			
1	今後のスケジュールはどうなっているのか。	他3件	土地利用基本構想で開校の目安のスケジュールをお示しする予定ですが、5、6年でできるとは考えていません。土地利用基本構想を策定し、ゾーニング、道路などを土地利用整備計画で検討し、その後設計・工事に入っていくという形になります。
2	現在は計画のどの段階なのか。	他2件	基本的な考え方（案）をお示しし、ご意見をいただいている段階です。
3	財政は大丈夫なのか。税金が増えるのではないか。	他1件	概算も大きな幅があり現段階ではお示しできません。今後検討する整備と一緒に程度の概算は示していきたいと考えます。
4	子どもの意見を聴く予定はあるのか。		事前に保護者の皆様に説明会を開催し、ご意見をお聴きした上で、11/23の市民向け説明会の後におおさわ学園の児童・生徒にも意見を聴く予定です。